

平成27年 7 月定例教育委員会議事録

平成27年 7 月 6 日

鹿屋市教育委員会

○日 時 平成27年7月6日(月)
13時25分から14時30分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風呂井 敬
教育委員	志 村 正 子
教育委員	松 木 忠 美
教育委員	蓑 田 繼 男

○関係者

教育総務課長	森 屋 尉
学校教育課長補佐	假 屋 博 行
生涯学習課長	榊 眞 一
教育総務課長補佐	有 村 道 尚
教育総務課管理係長	山 口 昌 弘

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第12号 平成26年度教育委員会点検評価の実施について
- 5 報告
 - (1) 鹿屋市議会 6月定例会の一般質問について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第12号	平成26年度教育委員会点検評価の実施について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>皆さん、こんにちは。明治日本の産業革命遺産の世界遺産登録、なでしこジャパンのワールドカップ2大会連続決勝進出など、良いニュースが国内を走っている。</p> <p>市議会6月定例会が開催され、一般質問も初めてであったが、何とか乗り切ることができた。すぐに何か良くなるというのは難しいが、1つ1つを大事にしながらやっているところである。定例会後に「大綱」についての確認をし、その後、総合教育会議に臨むということになる。長時間にはなるが、よろしく願いしたい。</p>
2	前回議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
教育長	発言がないので、報告はないものとする。
4	議事
各課長等	<p>(1) 議案第12号 平成26年度教育委員会点検評価の実施について</p> <p>資料に基づいて説明</p>
教育長	平成26年度教育委員会点検・評価事業一覧の8事業はどのように選定したのか。
教育総務課長	各課から主要な事業を選定してもらった。
松木委員	内部評価では、概ね計画通り進んでいると思うが、学校規模適正化についても計画どおり進んでいるのか。
教育総務課長	各年度に評価しているが、26年度はB評価とした。全ての学校再編計画が実行できたわけではないが、一定程度の再編が進んだ。
教育長	今まで計画的に統廃合を行ってきた。その間に50数年ぶりに文部科学省から統廃合についての指針が出され、地元との連携や地域活性化などを十分に配慮しながら、個別に判断する流れとなっている。これ

	<p>らも含め、いくつかの学校においては、当初の計画からすると文部科学省の指針等を受けて、活性化を検討しながら様子を見ている現状である。評価としては、当初からするとB評価だということである。</p>
蓑田委員	<p>小中一貫校花岡学園の名前の付け方だが、花岡地区には3つの学園がある。名前が決まった後の話だが、できれば地域の声を聞いて名前を付けて欲しかったという意見もあった。</p>
志村委員	<p>内部評価ではA評価が80パーセント、B評価が20パーセントであるが、選定した事業はB評価が多いようだが、ここに載っていないものがA評価が多いということなのか。</p>
教育総務課長	<p>そのとおりである。</p>
松木委員	<p>英語教育の教科化はどのようになるのか。</p>
学校教育課長補佐	<p>文部科学省は、平成32年から英語教育の教科化を目指している。 英語の授業を、小学生3年生から4年生までを年35時間、小学生5年生から6年生までを年70時間としている。鹿屋市は特区を受けて10年前から英語教育を進めている。今回、この時間数を確保するために、全国で29地区を指定し、県内では伊佐市と鹿屋市が指定を受けて3年間「英語教育強化地域拠点事業」を行うことになっている。小学生3、4年生で35時間、小学生5、6年生で70時間の授業時間の確保が課題である。</p>
蓑田委員	<p>英語活動の評価等を行っているのか。</p>
学校教育課長補佐	<p>数量的な評価は行っていない。</p>
教育長	<p>全国的にも小学校5年生から6年生が教科ではなく英会話を楽しく親しむという状況である。国は、次の学習指導要領では、オリンピックがある平成32年頃には教科にすることから、何らかの強化方策を検討中で、まもなく示されるのではないかと考えている。</p>
蓑田委員	<p>70時間の英語の学習は評価することになるのか。</p>
教育長	<p>32年度からは教科になるので、評価はされると思う。評価の在り方、</p>

<p>風呂井委員</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p> <p>蕨田委員</p> <p>教育長</p> <p>松木委員</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>内容、指導方法、教材等の研究を本県では鹿屋市と伊佐市が3年間で取り組む。</p> <p>耐震化事業は終了となるが、校舎の老朽化対策の長期的な計画はあるのか。</p> <p>老朽化対策は計画的に実施することとなるが、内部で検討中であり、具体的に、どこをするかはまだ決まってない。今後、検討していく。</p> <p>老朽化対策について、週に1回程度、内部で検討している状況である。老朽化対策の学校の順番等をリストアップして、大まかな概算の予算を考えながら作業しているところである。</p> <p>鹿屋東中学校を訪問した際に、クラスとクラスの仕切りが簡易な壁となっていた。防音壁にするなど、補修を行っていただきたい。</p> <p>作った際には、良いアイデアではあったが、実際に活用すると不具合もでてきている。</p> <p>老朽化対策もあるが、今後、給食センターの整備をどのように計画しているのか。</p> <p>大きな課題として、女子高、給食センター、鹿屋東中学校区各学校の教室不足など、全てを含めて、一つの課題として、総合的に検討しているところである。早いうちに結論を出し推進していきたい。</p> <p>ほかに質疑、意見等がないので議案第12号について採決する。原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p> <p>異議がないので、議案第12号は、原案可決とする。</p>
<p>5</p>	<p>報告</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>(1) 鹿屋市議会6月定例会の一般質問について</p> <p>資料に基づいて説明</p>

<p>風呂井委員 学校教育課長補佐</p> <p>教育長</p>	<p>武道教育の指導者は確保されているのか。</p> <p>ほとんどの教諭が柔道と剣道で、県内では空手の資格を持った人がいない状況である。もし、空手を授業で取り入れる場合は、空手の資格を持った指導者を確保しなければならない。沖縄では、一部武道として空手を取り入れている学校もある。</p> <p>前回の学習指導要領が平成20年に改定されて、日本の良さを子どもに教えるべきということで、音楽でも琴、太鼓等を取り入れている。武道教育は、中学校1年生及び2年生が必修で約10時間程度、3年生は選択制である。種目は6つあり、長刀、合気道等も含めて、学校が実状に合わせて選択することになっている。例えば、鹿児島大学は柔道が必修で、一部、剣道を選択している。その他はほとんど扱わない。鹿屋体育大学は、柔道が必修で剣道が選択制である。中学校の体育教員が、専門的な授業や知識を学んできているのが柔道及び剣道である。学校の選択としては、県内では約7割が柔道、約3割は剣道である。鹿屋市も同様である。市議会6月定例会の一般質問では空手を武道教育に取り入れて欲しいとの趣旨であったが、体育の教科の一部であり、体育の教員がある程度知識や技能を持ち評価まで行うことになれば、柔道と剣道が主になるのが現状である。沖縄県では空手人口が多く、教員も空手がしやすいので、学校で空手を選択することもある。</p>
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
<p>学校教育課長補佐</p> <p>生涯学習課長</p> <p>教育長</p>	<p>(1) 平和の花束2015及び子どもサミットについて</p> <p>資料に基づいて説明</p> <p>(2) 歴史と未来 大隅ふるさと講演会等について</p> <p>資料に基づいて説明</p> <p>次回は7月臨時会を7月22日（水）15時から8月定例会を8月7日（金）15時から教育長室で行う。</p>

8	閉会
教育長	以上をもって7月定例教育委員会を閉会する。 以上